

2019年5月28日(火)

日本共産党江東区議団

保育園等の園外活動の安全対策に関する申し入れ

本年5月8日、滋賀県大津市の県道交差点で信号待ちをしていた散歩中の保育園児と保育士の列に車が突っ込み、園児など16人が死傷、5月15日には千葉県市原市の公園で遊んでいた保育園児と保育士に車が突っ込み、保育士が重傷を負う痛ましい事故が発生し多くの方が胸を痛めています。

江東区内の保育現場や区民から「散歩のとき等に危険を感じる箇所がいくつもある」「歩道をひろげてほしい」など、安全対策の拡充を求める声が寄せられています。園庭のある認可保育園等も含め、園外での遊びは子どもの発達にとって重要な活動であり、園外での安全確保対策は極めて重要な課題です。

区内には認可保育園、幼稚園、認定こども園、認証保育所、小規模保育などが231ヶ所に整備されています。交通量が多く、歩道が狭い地域が多いことから園庭のあるなしにかかわらず、子どもたちが安全に園外活動を行えるよう、日本共産党江東区議団は以下の事項をすみやかに実施するよう求めます。

記

1. 認可保育園、幼稚園など就学前の子どもが通う施設から危険な箇所を聞き取り、道路管理者や警察等と連携し総点検を実施すること。
2. ガードレール等や信号機の設置等及び、歩車分離など、有効な対策を関係機関と連携して推進すること。
3. 今後の保育園整備にあたっては、園庭のある保育園を基本として進めること。
4. 園外活動における安全確保に必要な保育園等の職員を増配置すること。
5. 安全対策のために必要な予算措置を、補正予算を含めて実施すること。

以上